



落二中だより

令和5年4月14日
第1号
新宿区立落合第二中学校

新入生のことば高らかに、新年度始まる

校長 小杉 英夫

令和5年度が始まりました。本年度もよろしくお願ひいたします。

4月7日に行われた入学式は、112名の新入生を迎えて実施いたしました。全校生徒が306名となりました。

校長の式辞では、新入生たちに次のような話をしました。

今日から中学生として自ら進んでそれぞれの夢を実現するために必要な心がけについて2つお話しします。

まず、どんな時でも「希望」をもって本気で頑張ることです。勉強でも行事でも部活動でも、うまくいなくても簡単にあきらめないでください。もう一息の努力で、よい結果が得られるかもしれません。前向きな希望をもって努力を続けてほしいと思います。

次に仲間との「協力」です。夢の実現には必ず他の人の協力が必要になります。みんなで力を合わせることはとても大切なことです。一人一人の個性は尊重しながら協力する場面ではチームとしてまとまれるように心がけましょう。

中学校で初めて出会う友達とも、互いに思いやる気持ちをもって理解し合い、仲良く過ごしてください。

2年生、3年生も4月から新しいクラスで頑張っていきますが、年度当初にあたり、新入生と同じく、「希望」と「協力」の気持ちを大切に、過ごしてほしいと思います。



☆ 学年主任より ☆

1年生は112名で中学校生活をスタートしました。中学校生活では「挑戦」を目標に活動していきましょう。新しい友人に話しかけるのも「挑戦」ですし、部活動に所属するのも「挑戦」です。ぜひ、中学校3年間で多くのことに「挑戦」していきましょう。

授業や部活動も始まり、中学校生活のスタートの鐘が鳴り始めました。いち早く中学校生活に慣れていきましょう。3年間で大きく成長していけるように、先生たちは全力で応援しサポートしていきます。間違えを恐れることなく、充実した学校生活にし、互いに助け合い、高めあえる関係を作っていくことを願っています。(1学年主任)

2学年107名でスタートしました。合言葉は、『誰とでもチーム!』

2年生に進級し、環境が変わって不安を感じている人もたくさんいるでしょう。「クラスに仲のいい人が少ない。苦手な人がいる…」など。でも『誰とでもチーム!』のスキルが身に付いていれば、その不安を小さくできます。苦手と思っていた人とも一緒に活動していると良い面が見えてきます。

例えば、高校に進学すると教室に知っている人は誰もいません。社会に出ると同じ年齢層もいないかもしれません。そんな時、周りと関わることができるスキルが身に付いていれば、幸せになれる。

再来年の卒業式で、「この落合二中で学べて良かった。素敵な仲間に出会えて良かった。」と心の底から思えるよう、授業・学校行事・部活動などを通じて、信頼関係を深め、感謝、感動を生むことができるように精一杯過ごしましょう。今年度も、よろしくお願ひします。(2学年主任)

最高学年の3年生となりました。転入生2名を迎えて87名でのスタートとなります。まだ2年生の最終日から1か月も経っていませんが、全校生徒がそろそろような場面では後輩が2学年いるので「3年生なんだな」と感じられます。今年度は進路決定の年となります。これまでとは違ったプレッシャーや難しさや向き合いながらの1年間になるはず。生徒、保護者、教員が連絡を密に取りながら進路決定に向かっていければと思っております。さて、第3学年では、学年として「**自分だけの正解にたどりつく1年にする**」という目標を立てました。自分が選んだ道、進むことになった道のことを考えた時「これが自分にとって最も良い道だ」と自信をもって言える状態でいてもらいたいと考えています。そのためには、学習や部活動、最後の行事などに対して、粘り強く、後悔のない取組をしていてもらいたいと考えています。保護者の皆様、本年もよろしくお願ひします。(3学年主任)